

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人社団仁和会相模原伊藤病院	階数	地上7F
建設地	相模原市中央区相模原4丁目11番4号	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2014年10月1日
敷地面積	1,321 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 梓設計
建築面積	766 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,398 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な治療環境を確保する計画</li> <li>・コンパクトで機能的な計画</li> <li>・経営方針や社会情勢などの変化に柔軟に対応可能な計画</li> </ul>	その他
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室は界壁遮音性をもたせプライバシーを確保</li> </ul>	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間エネルギー消費を把握し専門家により見直しを随時行っていく。</li> </ul>	Q3 室外環境(敷地内)
	Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部品・部材の耐用年数25年程度</li> <li>・LGS間仕切壁の使用により将来のプラン変更に対応可能</li> </ul>
	LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害物質を含まない材料を使用</li> </ul>
	LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地の特性やまとまりを生かした、にぎわいや個性あふれる景観形成</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される